



～その後の脱温暖化物語～
⑨エコINNくろせ

校の一年生十
一人と麦踏み
体験を行った。
昨年十一月に
種まきされ十
ヶ月程度に成長
した麦を、子
どもたちが大
きくなあれ
！と声を



声をかけながら麦踏みをする子どもたち。「踏みつけても大丈夫なの？」と元気な声が飛び交った

小麦を切り口に体験学習を展開

若手推進員がブログで情報発信

エコINNくろせは、平成十八年三月に約五十人の賛同者が集まり、生活密着型の脱温暖化行動の推進をめざして発足した。エコINNくろせの「INN」は「宿」を意味し、環境にやさしい行動や思いが黒瀬に宿るように願って名付けられた。

地球温暖化防止活動推進員の企画でスタートした「自転車キヤラバン隊CO2削減キャンペーン」や子ども会と一緒にごみから脱温暖化を考える「ごみの大桶川ハワマッチ」などのイベントが継続して実施され、活動メニューは年々増えている。

また、地元の小中学生を対象に「小麦」をシンボルにした体験型の脱温暖化学習を実施している。遊休地の有効利用を図るとともに、子どもたちに食と温暖化のつながりや地産地消の大切さについて伝えていく。

活動を支えている若手リーダーだ。推進員研修での企画実践の一環で、活動を日記形式で紹介するウェブサイトを「エコINNくろせブログ」を作成した。「ブログを活用して多くの人に情報発信する一方で、口コミで一緒に活動してくれる若手の仲間を発掘していきたい」と意気込みを語っ

活動を支えている若手リーダーだ。推進員研修での企画実践の一環で、活動を日記形式で紹介するウェブサイトを「エコINNくろせブログ」を作成した。「ブログを活用して多くの人に情報発信する一方で、口コミで一緒に活動してくれる若手の仲間を発掘して

かけながら夢中で踏んでいった。作業後の質問タイムには「小麦はいつ粉になるのですか？」「踏み潰されて、大きく成長する小麦に驚いた」などの質問や感想が飛び交い、小麦作りに興味津々であった。これからは、五月の観察会と六月の麦刈り→十月の麦わらを使った蛍かごづくり→十二月のうどん作りと続いていく。

母親とともに推進員の日村健一さんは、エコINNくろせの

“地域で進める脱温暖化、地域セミナー in 福山を開催



世界の状況や各国の温暖化対策について解説する田浦健朗氏

低炭素社会の道筋を市民から法案づくりの必要性を議論

脱温暖化活動を増進させるための「地域セミナー in 福山」を十二月十六日に当会東部支所で開催した。公衆衛生推進委員や地球温暖化防止活動推進員などを

えようと、脱温暖化センター「ひろしまとNPO法人気候ネットワーク」は「地域で進める脱温暖化」地域セミナー in 福山」を十二月十六日に当会東部支所で開催した。

セミナーでは、気候ネットワーク事務局長の田浦健朗氏より、世界の状況や各国の温暖化対策を解説。地球温暖化を防止するには、先進国が大幅な削減目標を立て、実行する必要があるとし、

室効果ガスを大幅に減らし、新しい経済社会を作っていく必要性が議論された。脱温暖化センターひろしまでは、今後も市民が主体性を持って社会の仕組みを議論し、地域に即した脱温暖化のまちづくりを一緒に考えていくセミナーを開催していく予定だ。

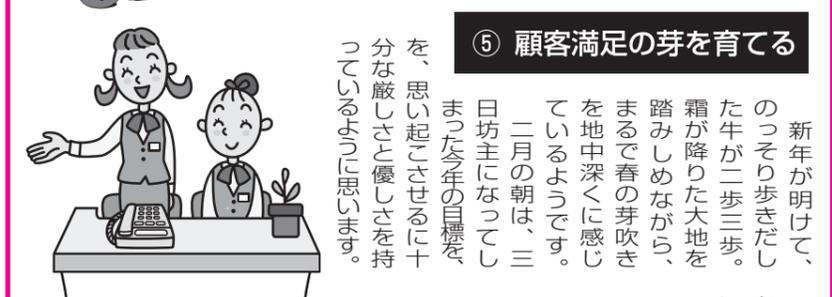
中心に、住民や事業者、行政など約七十名の参加がある。目標設定において、日本が世界に取り残されようとしていることを示唆した。続いて、同ネットワークの桃井貴子氏より、日本の中期目標を盛り込んだ「気候保護法案」を進めるためにスタートした「MAKE a RULE」キャンペーンについて説明した。



セミナーには、会場が一杯になるほどの参加者が訪れた

今後は、学校給食にも黒瀬で作られた小麦を取り入れてもらうように働きかけていく予定だ。エコINNくろせ ブログ <http://ecoinnkurose.blog.fc2.com/> (脱温暖化センターひろしま)

検査受付窓口日記



⑤ 顧客満足度の芽を育てる
新年が明けて、のっそり歩きだした牛が二歩三歩、霜が降りた大地を踏みしめながら、まるで春の芽吹きを地中深くに感じているようです。二月の朝は、三日坊主になってしまった今年の目標を、思い起こさせるに十分な厳しさと優しさを保持しているように思います。

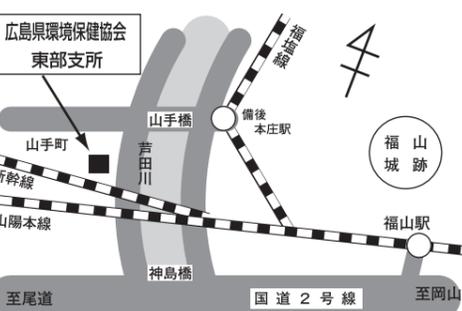
望まなくても事件で増える依頼品 お客様の声をコミュニケーションに活かす

ところで、昨年一番怖かったニュースは何かとアンケートで、一位あの毒入り餃子事件でした。消費者は、スピードやコスト削減のみを追求する不誠実な業者によって、店先に並んだものは安全だという認識を覆され、購入して口にするのは、それなりの知識と覚悟が必要だということを思い知らされたのです。こうした事件や事故が起きるたびに、窓口では検査依頼品が増え、気のおけないお客様からは「いいね、儲かって」などと言われ、複雑な思いを苦笑いでごまかしたものです。しかし、それは決して私たちの望むところではありません。そこで、お客様が窓口に来ておられることを顧客満足としてとらえ、アンケートで教えていただくことにしました。初めての試みでしたが、おおよそ結果を予測しながらも、お客様の生の声が聞けたことは大変意義深いものでした。私たちは、アンケートの結果を踏まえ、お客様が健康で豊かな生活を送るための一助になれることに邁進を見出し、さあ、窓口でのコミュニケーションに活かしていくつもりです。そして、まだ地中に埋まっている顧客満足度の芽を、春に向かってゆっくり、しっかりと丈夫に育てていきたいと思っています。

(企画開発センター 山崎照美)

東部地区の検査受付は、支所でも行います！

食品検査・衛生検査・飲料水検査・環境検査など
【受付時間】月曜日から木曜日 8:30～17:30



財団法人 広島県環境保健協会
東 部 支 所
〒720-0092 福山市山手町5-32-26
TEL 084-952-0007
FAX 084-952-0009

